



# 配慮を必要とする方に対しての理解と対応

～障害のある方等に対するサポートの視点と手法を身に付ける～

## ねらい

周囲からのサポートを必要とされる方々の立場に立って支援する視点、基礎的な知識を獲得し、接し方のマナーや対応スキルを身に付けます。

## 特徴

要配慮者や要配慮者を支援する方からの講義や実際の接遇体験を通じて、コミュニケーションの取り方や支援の方法を習得することができ、研修後の実践力に直結します。

## 形式

本研修は下記の会場で、講師による講義や演習、要配慮者及び要配慮者を支援する方からのお話や実習を中心に実施します。座席は教室型に配置し行います。

### ■日程【1日間】

9月17日(火)

※会場は、「新潟ふれ愛プラザ」(新潟市江南区亀田向陽1-9-1)を予定しています。

### ■予定人数

17名

### ■対象

障害者に対する接し方について基本的な知識・理解を学びたい方

### ■講師

新潟大学大学院医歯学総合研究所 教授 神子島 旬子 氏 ほか  
※講師は変更となる場合があります。

## プログラム(予定)

	9:00	12:00	13:00	17:00
	はじめに 1. 接遇の基本 2. 障害者差別解消法を理解する 3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法			3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法 4. まとめ

カリキュラム(予定)	
時間	内容
1 日 目	9:00 <u>はじめに</u>
	<u>1. 接遇の基本</u>
	<u>2. 障害者差別解消法を理解する</u>
	<u>3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法</u>
	12:00 (1) 肢体不自由者の理解と接遇 13:00 (2) 視覚障害者の理解と接遇 (3) 聴覚障害者の理解と接遇 (4) 精神障害者の理解と接遇
17:00 <u>4. まとめ</u>	

※研修内容は現段階での予定であり、今後、変更となる場合があります。

## 受講者の声(令和5年度)

- 福祉系の仕事に限らず、あらゆる業種・職場の人に受講して欲しい内容であった。特に、障害当事者のお話を聞いたのは有意義であった。
- 視覚障害者の方のお話で、行政窓口で介助者と一緒に行った時、担当者が介助者の方に話しかけていたとあった。困って相談に行っているのは障害者であり、その点は自分も気をつけなければと思った。
- 講義のみでなく、実技や実際に視覚障害を持つ方のお話を聞いて参考になった。
- 障害がある当事者の方が、「実際はこうしてほしい」という意見を聞くことが出来てよかった。
- 障害について、ステレオタイプで支援せず、一人一人に向き合った支援が必要になることが学べた。
- 相手を思いやる心を持ち、接することが大切だと感じた。